

8月1日	トナカイ アフリカテガミヤマアラシ フラミンゴ	雁来♀ センサー挿入部が化膿し洗浄消毒。 ワヤ♀ 右目の瞳孔部分の白濁強く、突出してきているように見える。 チリーAペア 産卵したが、破卵。
8月4日	フラミンゴ	ヨーロッパヒナ、土を啄んで食べていた。
8月5日	ゾウ	だいすけ♀ 左牙先端折れる。
8月7日	トナカイ	暑さ対策のミスト24時間稼働。
8月8日	キリン	リンリン♀ サブパドックで前肢を台に載せるトレーニング。
8月9日	ゼニタナゴ	ピジターセンター水槽：川魚用の餌で給餌開始。
8月10日	キリン	カンタ♂ 血圧測定、リンリン♀ 採血。
8月11日	シロマダラ レッサーパンダ	夜間展示開始。 仔 体重測定 2頭とも開眼した。
8月12日	キリン	カンタ♂ 直腸検査トレーニング。
8月13日	トナカイ	元気♂ F・ケージ初遊泳。
8月14日	ゾウ	交尾行動あり。
8月16日	キリン	リンリン♀ 血圧測定実施。
8月17日	サンショクキムネオハシ チンパンジー	同居訓練。 夜間園の影響で疲れが見える。
8月18日	ポリビアリスザル ワオキツネザル	仔 母親の背中から降りて1頭で行動することあり。 睾丸の皮が裂け治療。
8月19日	ニホンイヌワシ	月子♀ 予備舎へ移動。
8月21日	アカコンゴウインコ	巣箱の中に卵・雛無し。無精卵と思われる。
8月23日	ケツメリクガメ	右黄4 陰莖脱おおよび排便障害による腸内内容物過多のため入院。
8月24日	ライオン インドクジャク	ロアー♂とトモ♀お見合い中フェンス越しに激しく威嚇あり。 追い回し攻撃。クジャクの園再開
8月30日	カリフォルニアアシカ	マヤ♀ 右膝に腫瘍出現。食欲低下。
8月31日	サル山	ジャンボスイカ1個給餌。
9月3日	カリフォルニアアシカ	マヤ♀ 右前肢の腫脹箇所、破れて中身が全部排出された様子。
9月6日	フラミンゴ	ヨーロッパペア7個擬卵に交換。
9月13日	トナカイ	ルドルフ♂ 角の皮がほとんど剥けていた。発情がきていると思われる。
9月16日	レッサーパンダ	仔 笹を食べる真似をしていた。
9月18日	フラミンゴ	今年度の繁殖終了。
9月20日	トナカイ	元気♂ 右角枯角に変化。
9月22日	シバヤギ	コハク去勢♂ 擦過傷保護のためボロシャツ着用。

9月22日	ライオン	トモ♀ 通路下でうなり声を出しながらゴロゴロして発情の兆候あり。
9月26日	アムールトラ	ヒロシ♂ 朝一排尿している時間長かった(約4分)。
9月29日	キョン	ソケン♀ 一部が枯角。
9月30日	アカカンガルー プレーリードッグ	子2頭 展示場内を疾走し、途中で衝突した。怪我はない様子。 ロッキー♂が乗作り。
10月2日	カピバラ	ぐり♀ 胎動(?)確認。
10月6日	アカカンガルー コモンマーモセット ゾウ	クミコ♀ X線検査結果、骨折確認。ギブス処置。 もも♀ 腹部の膨らみ目立つ。 だいすけ♀ 体調不良経過観察。パレット給餌再開。
10月7日	プレーリードッグ	夜間室温が15℃になったため寝室シートのアクリル板設置。
10月8日	ふれあい事務所・カメハウス	ストープ試運転。
10月9日	ゼニタナゴ カナダヤマアラシ	ひょうたん橋水槽のドブガイにゼニタナゴの産卵確認。 モスク♀ 体重測定。
10月10日	アカカンガルー ホンドテン	クミコ♀ 骨折修復手術実施。お腹に全長1cm程度の赤ちゃん確認。 冬毛に変わってきている。
10月17日	トナカイ	ルドルフ♂と雁来♀を同居。
10月19日	鳥っこの水辺	鳥類移動。
10月27日	キリン	リンリン♀削蹄。カンタ♂蹄の伸び気になる。
10月30日	トナカイ	ルドルフ♂とサクラ♀を同居。
10月31日	日本産両生爬虫類	冬眠のため展示終了。
11月6日	ゾウ	足ケア用の新しい台に慣らし始める。
11月7日	サル山 インドホシガメ	繁殖個体マイクロチップ埋込。11月8日に個体識別作業実施。 交尾確認。 ペットヒーターを敷く。
11月8日	カピバラ	子供個体識別、性別判定実施。
11月10日	アカカンガルー	クミコ♀ 骨折部の骨増生無し。育児囊の仔、体長5.5cm。
11月20日	タンチョウ	ペア 求愛ダンス。
12月1日	ピューマ	ピュータ♀ 飲水量多め、上下運動が困難になってきたためオオカミの部屋に移動。
12月3日	ミーアキャット ゾウ	川原♀ 一頭腹部膨らんできている。 だいすけ♀ 左脇腹のイボが破けたようになっていた。左後肢が外側に湾曲。
12月8日	ピューマ	ピュータ♀ 朝から室内で横になり痙攣。終日治療実施。
12月13日	ツキノワグマ	糞♂ 昨日の餌ほとんど食べていない。
12月18日	オオバタン キリン	おかあさんと思われる個体が卵を産み落としていた(破卵)。 リンリン♀ 発情回帰の可能性。
12月21日	ニホンイヌワシ キリン	第1ペア 擬交尾行動を確認する。
12月24日	ツキノワグマ	カンタ♂ 尾先端部脱落。 親子♀ 冬ごもり開始。

お客さまの声

- 8月13日**
ミルヴェ館が涼しかった。でも自由に使ってよい場所なのかわからなかった。せつかく秋田まで来たので、秋田市内の観光スポットのパンフレットも置いてほしい。また来ます。
- 9月10日**
インコとフクロウのお散歩で、ていねいに説明してもらえて、とっても嬉しかったです!!
- 9月19日**
来るたびにどこかが新しくなっていて、来るたびに新しい発見があっておもしろいです。さよならをする動物がいる時は広報とかでいついなくなるとかわかっていると、最後にもう1回行こうかなってなります。新しくくる動物のお知らせは見た記憶があるのに、いなくなる動物の話がないのはさみしいです。

- 10月10日**
そばを通りかかった時に説明をしてくれてありがとう!!らくだの飼育員さん!!
- 10月19日**
解説などは良い事だと思います。子供向けの解説だけでなく大人向けにふみこんだ解説、飼育の話を知りたいと思います。
- 11月12日**
年間パスポートを毎年購入して、時間があれば遊びに来ています。大変な仕事で忙しいと思いますがこれからもみんなが楽しめる場所として期待しています。
- 11月15日**
いつも動物のことをくわしく教えてくれるので、子どもたちが楽しみにしています。

〈かたばた通信〉

休園中の大森山動物園。いつもは賑やかな声が響く園内が閑散とし、動物たちもひっそりと落ち着いていた様子が印象的でした。

鳥インフルエンザ発生後、動物を心配する声だけではなく、動物園への励まし声も多くいただきました。それらは職員力になり、改めてみなさまに支えられ成り立っている動物園なのだと実感できました。

3月から新たなシーズンがスタートし、動物も職員も元気いっぱいみなさまをお迎えします。これからも大森山動物園をよろしく願います! (宇佐美)